

本間照光名誉教授著作目録

I. 著書

書名	発行年月	発行所
『社会科学としての保険論』	1983年5月	汐文社、芝田進午監修 小林北一郎との共著
『保険の社会学—医療・くらし・原発・戦争』	1992年2月	勁草書房
『団体定期保険と企業社会』	1997年5月	日本経済評論社
(編著)『社会福祉辞典』(社会福祉辞典編集委員会編)	2002年10月	大月書店
『階層化する労働と生活』	2006年10月	『青山学院大学総合研究所叢書』 (共著) 日本経済評論社

II. 論文

論文の名称	発行年月	掲載誌・発行所
「原子力保険のパラドックス—核時代と原子力損害賠償制度」	1982年3月	『技術と人間』第11巻第3号 技術と人間
「核時代の経済学の課題—「社会」の絶滅を阻止する「社会」変革」	1983年12月	『社会科学研究年報』1983年版 合同出版
「民間医療保険の急成長と公的医療保険—私的保険は社会保険に代りうるか」	1984年5月	『民医連医療』142号 民主医療機関連合会
「私的保険は社会保険に代りうるか」	1985年4月	『共済と保険』第27巻第4号 共済保険研究会
「ジェノサイドと国際的再保険—ポパールを再生産するネットワーク」	1985年10月	『技術と人間』第14巻第10号 技術と人間
「参戦体制と核戦争保険—戦争保険の核戦争保険化がもたらすもの」(上)(下)	1986年5・6月	『損保調査時報』175号、176号 損保調査時報編集部

- | | | |
|---|----------|--|
| 「改正健保法後の民間医療保険の動向—再論・私的保険は社会保険に代りうるか」 | 1986年9月 | 『月刊保団連』第246号
全日本保険医団体連合会 |
| 「シルバー産業と老後保障」 | 1987年5月 | 『月刊保団連』第260号
全日本保険医団体連合会 |
| 「社会的協同の現状と協同組合保険の課題」 | 1988年2月 | 『共済と保険』第30巻第3号
共済保険研究会 |
| 「揺れ動く米原発損害賠償制度—核燃料サイクルの矛盾を『保険』からみる」 | 1988年7月 | 『週刊エコノミスト』第2799号
毎日新聞社 |
| 「社会保険理論の経済学的位置—社会保障理論構築のための一作業」 | 1989年10月 | 『経済論集』第37巻第2号
北海学園大学経済学会 |
| 「保険づけニッポンと国民生活」 | 1990年5月 | 『賃金と社会保障』1034号
労働旬報社 |
| 「共済(協同組合保険)の本質について」 | 1990年10月 | 『共済と保険』第32巻第11号
共済保険研究会 |
| 「民間医療保険と公的医療」 | 1990年12月 | 『講座日本の保健・医療』第4巻
医療営利化と国民医療
労働旬報社 |
| 「保険増殖社会の家族保障」 | 1991年3月 | 『共済季報』第28号
全国共済農業協同組合連合会 |
| 「保険をめぐる消費者主権と福祉」 | 1991年3月 | 『経済論集』第38巻第4号
北海学園大学経済学会 |
| 「賀川豊彦の協同組合保険への軌跡と論理—神の国運動へ、そして出発」 | 1992年3月 | 『研究年報経済学』第53巻第4号
東北大学経済学会 |
| 「賀川豊彦の協同組合保険論—社会科学における継承と断絶の一考察」 | 1992年3月 | 『経済論集』第39巻第4号
北海学園大学経済学会 |
| 「協同組合保険の基本的(本質的)価値—賀川豊彦・小林北一郎:現代世界への伝言」 | 1992年10月 | 『共済と保険』第34巻第9号
日本共済協会 |
| 「企業年金への水路と氾濫」 | 1993年1月 | 『賃金と社会保障』第1097号
労働旬報社 |

本間照光名誉教授著作目録

- | | | |
|---|---------------------|---|
| 「保険からみた社会政策・社会保障の再
検討—社会保障政策と理論の問題所
在」 | 1993年10月 | 『変化の中の労働と生活』社会政
策学会研究大会・社会政策叢書
第17集 啓文社 |
| 「賀川協同組合保険論の意味—賀川豊彦
研究上の空白、社会科学上の空白」 | 1994年3月 | 『賀川豊彦学会論叢』第9号
賀川豊彦学会 |
| 「過労死をめぐる保険機能の二面性—経
済企画庁論文(「働き過ぎと健康障害」)
の意義」 | 1994年5月 | 『労働と健康』第123号
大阪労災職業病対策連絡会 |
| 「団体定期保険の研究—本旨と「日本型」
企業社会の現実」 | 1994年9月 | 『経済論集』第42巻第2号
北海学園大学経済学会 |
| 「顧客保護と協同自治の保護—保険会社
化は契約者を保護するか」 | 1995年1月 | 『共済と保険』第37巻第1号
日本共済協会 |
| 「保険制度からみた「公的介護保険」創
設の問題点—介護保障は「介護保険」
で実現できるか(上)(下)」 | 1995年5月
7月 | 『賃金と社会保障』第1154号
第1157号
労働旬報社 |
| 「賀川豊彦と共済」 | 1995年5月 | 『共済事業の基礎理論』(共著)
日本共済協会 |
| 「「日本型」企業社会と社会保障」 | 1995年6月 | 『揺れ動く現代世界の経済政策』
(共著) 日本経済評論社 |
| 「介護問題は保険ではカバーできない」 | 1995年9月 | 『月刊保団連』第482号
全国保険医団体連合会 |
| 「介護と保険の特性からみた公的介護保
険(上)(下)」 | 1996年1月
2月 | 『共済と保険』第38巻第1号
第38巻第2号
日本共済協会 |
| 「高齢化社会の社会政策—医療保障・年
金保障」 | 1996年3月 | 『21世紀への社会政策』(共著)
法律文化社 |
| 「金融・保険改革と協同組合保険の課題
(上)(中)(下)」 | 1996年3月
4月
5月 | 『共済と保険』第38巻第3号
第4号
第5号
日本共済協会 |
| 「「日本型」企業社会と団体定期保険」 | 1996年3月 | 『賀川豊彦学会論叢』第10,11号
(合併号) 賀川豊彦学会 |

- 「迷走『公的介護保険』が映す社会保障
像」 1996年6月 『共済と保険』第38巻第6号
共済保険研究会
- 「団体定期保険裁判に関する意見書」 1996年7月 『経済論集』第44巻第1号
北海学園大学経済学会
- 「迷走「介護保険」で露呈されたこと—
日本の社会保障論は保険理論をクリア
していない」 1996年8月 『賃金と社会保障』1183号
労働旬報社
- 「団体保険と日本的経営—団体定期保険
の保険金帰属問題」 1997年6月 『保険学雑誌』557号
日本保険学会
- 「災害対策としての農業共済保険の意義
と今後の課題—国民経済と農業経済の
安定的再生産視点から(上)(中)(下)」 1998年6月 『月刊NOSAI』第50巻6号
7号
8月 8号
全国農業共済協会
- 「自縄自縛の年金「選択肢」—厚生年金民
営化論が教える公的年金の本筋」 1998年8月 『賃金と社会保障』第1232号
旬報社
- 「団体定期保険普通保険約款の系譜—「遺
族保障」・「企業の受取り禁止」を明
記」 1999年12月 『青山経済論集』第51巻第1・
2・3号 青山学院大学経済学会
- 「団体定期保険普通保険約款の研究」 1999年12月 『共済と保険』第41巻第12号
日本共済協会
- 「団体保険の本旨・法理・倫理—『支分
契約性』の自己否定に至る論理」 2000年5月 『共済と保険』第42巻第5号
日本共済協会
- 「21世紀に向けた協同組合と共済事業—
市場経済の渦の中から—」 2000年7月 『共済と保険』第42巻第7号
日本共済協会
- 「日本商法『他人の生命の保険契約』の
系譜—『利益主義』を包摂する『同意
主義』」 2001年3月 『青山経済論集』第52巻第4号
青山学院大学経済学会
- 「公的介護保険と社会的介護」 2001年7月 『日本の福祉—福祉の多様化と
介護保険制度』(小原, 神長編)
以文社
- 「保障と矛盾の集中としての共済事業—
求められる協同組合保険論の復権—」 2001年8月 『生活協同組合研究』Vol. 307
生協総合研究所

本間照光名誉教授著作目録

- | | | |
|--|----------|--|
| 「社会保険論のフィクションと歴史的現実—急増する無年金・無保険者の政策・理論背景—」 | 2002年1月 | 『社会保障』No. 380
中央社会保障推進協議会 |
| 「巨大志向から原理・原則へ—保険経営再生一つの道—」 | 2002年3月 | 『金融労働調査時報』No. 624
銀行労働研究会 |
| 「検証・介護保険と保険理論」 | 2002年7月 | 『賃金と社会保障』第1326号
旬報社 |
| 「社会保障の保険化政策—欠落する歴史的・社会的検証—」 | 2002年10月 | 『総合社会福祉研究』第21号
総合社会福祉研究所 |
| 「『他人の生命の保険契約』100年と団体保険問題—最高裁で問われる戦後「通説」・「現代」日本—」 | 2002年11月 | 『労働法律旬報』第1539号
旬報社 |
| 「公的介護保険と社会政策」 | 2003年6月 | 『新版社会政策』（石畑・牧野編）
ミネルヴァ書房 |
| 「最高裁判所への意見書：団体保険の本旨（遺族保障）と法理（支分契約性）—遺族保障が遺族保障となる問題解決—」 | 2004年3月 | 『青山経済論集』第55巻第4号
青山学院大学経済学会 |
| 「社会保険の二重の性格」 | 2004年6月 | 『月刊保団連』第825号
全国保険医団体連合会 |
| 「『無認可共済』問題と共済の原点—無認可保険が共済とされる力学と学説—」 | 2004年9月 | 『生活協同組合研究』第344号
生協総合研究所 |
| 「日本における『他人の生命の保険』100年—現行通説の学説史上の位置—」 | 2005年3月 | 『保険学雑誌』第588号
日本保険学会 |
| 「公的介護保険と社会的介護の矛盾」 | 2006年4月 | 『現代の社会と統計』（共著）
産業統計研究社 |
| 「『無認可保険』問題と共済理論の復権」 | 2006年10月 | 『協同組合研究』第25巻第2・3号
日本協同組合学会 |
| 「日米の保険マーケットと共済規制—日本社会を運営する力への規制」 | 2007年6月 | 『共済事業と日本社会—共済規制はなにをもたらすか』共済研究会編
保険毎日新聞社 |
| 「団体定期保険（Bグループ保険）裁判に関する意見書」 | 2007年7月 | 東京高等裁判所へ提出 |

「同補充意見書」	2007年9月	同
「同補充意見書(2)」	2008年10月	同
「同補充意見書(3)」	2009年1月	同
「上告審への意見書—『協約書』に対する 原判決の判断脱漏と誤り」	2009年10月	最高裁判所へ提出
「同上告審への意見書(2)」	2010年8月	同
「鑑定意見書：保険の対面販売と外勤社 員制度の独自性—制度廃止は『経営上 高度の必要性』ではなく、存続会社の 施策選択—」	2007年12月	東京高等裁判所へ提出 (『2.18全損保シンポジウム・東 京海上日動火災外勤社員制度廃 止事件』, 2008年3月所収)
「経営破綻から不払い問題へ—保険『自 由化』政策・経営の帰結」	2008年2月	『月刊 国民医療』No. 245 国民医療研究所
「危機に甦る共済の原点—賀川豊彦と現 代」	2008年2月	『協同組合経営研究誌 にじ』 No. 621 協同組合経営研究所
「なぜ、助け合いの共済がつぶされるの か—金融保険行政の作為と不作為」	2008年9月	『賃金と社会保障』第1474号 旬報社
「『協同自治』の共済こそ本流」	2009年1月	『社会運動』346号 市民セクター政策機構
「社会保障の形成・逆流・再生—自動安 定装置(ビルト・イン・スタビライザー) の回復」	2009年5月	『月刊 保団連』999号 全国保険医団体連合会
「賀川豊彦と協同組合運動—新しい社会 と人間を生み出す力」	2009年9月	『協同組合経営研究誌 にじ』 627号 協同組合経営研究所
「賀川豊彦がいま問いかけるもの—共済 はどうあったらよいのか」	2010年7月	『賃金と社会保障』第1518号 旬報社
「共済文化と研究運動—現実を変える歴 史的・社会的力」	2011年7月	『賃金と社会保障』第1542号 旬報社
「核時代の生存権とナショナルミニマム」	2011年12月	『総合社会福祉研究』39号 総合社会福祉研究所
「生存のための協同と共済研究運動」	2012年7月	『賃金と社会保障』第1565号 旬報社

本間照光名誉教授著作目録

- | | | |
|---|----------|----------------------------------|
| 「共済文化—いのちとくらし，社会を運営する力」 | 2012年10月 | 『賀川豊彦と協同組合文化』賀川豊彦記念松沢資料館 |
| 「国際協同組合年と賀川豊彦—よりよい世界と地球のために」 | 2012年12月 | 『信用金庫』第66巻第12号
全国信用金庫組合 |
| 「TPP—『共済』で起きたことがすべての分野で起きる」 | 2013年11月 | 『賃金と社会保障』第1598号
旬報社 |
| 「TPPを先取りする共済の危機—協同組合はどこに行こうとするのか」 | 2013年12月 | 『世界』850号
岩波書店 |
| 「原子力損害賠償の責任主体—国策と商業ベース，象徴する製造物・電力債」 | 2014年3月 | 『経済研究』第6号
青山学院大学経済研究所 |
| 「加害者保護へ向かう原子力損害賠償制度—議論なき改定，再び事故へ」 | 2015年6月 | 『協同組合研究誌〔季刊〕 にじ』
650号 JC 総研 |
| 「甦る賀川豊彦の共済論—自然と社会観，『社会進化の力』」 | 2015年7月 | 『賀川豊彦学会論叢』23号
賀川豊彦学会 |
| 「保険・共済の歴史的社会的役割—求められる理論と研究運動」 | 2015年10月 | 『賃金と社会保障』第1644号
旬報社 |
| 「原賠法の『目的』—『被害者保護』と『原子力事業の健全な発達』は同等か」 | 2016年3月 | 『経済研究』第8号
青山学院大学経済研究所 |
| 「保険・共済の歴史性と社会性—立ち位置を照らす保険研究の回復」 | 2016年12月 | 『協同組合研究』第36巻第1・2
合併号 日本協同組合学会 |
| 「原賠制度の虚構とリスクの現実—世界の原発事故史上初，『賠償措置額』超過のもとでの『被害者保護』」 | 2017年3月 | 『経済研究』第9号
青山学院大学経済研究所 |
| 「原賠制度という虚構—保険が機能しないリスクとコストの現実」 | 2017年4月 | 『科学』Vol. 87, No. 4
岩波書店 |
| 「『自由化』と保険学—復権：小林北一郎『歴史的範疇としての保険』論—」 | 2017年12月 | 『保険学雑誌』639号
日本保険学会 |

III. その他

論文の名称	発行年月	掲載誌・発行所
「寅さんは医療保険にはいれるか」	1985年3月	『共済と保険』第27巻第3号 共済保険研究会
「私的保険は社会保険に代わりうるか」	1985年4月	『共済と保険』第27巻第4号 共済保険研究会
「損害賠償制度」	1985年8月	『原子力発電—知る・考える・調べる』日本科学者会議編
「保険理論でみえる歴史・みえない歴史」	1985年10月	『共済と保険』第31巻第11号 共済保険研究会
「民間医療保険の急成長と公的医療保険—私的保険は社会保険に代りうるか」	1985年10月	『保険医の臨床』第252号 神奈川県保険医協会
「放射能とウォッカと原子力保険と」	1986年7月	『共済と保険』第28巻第7号 共済保険研究会
「原子力損害賠償制度からみた核燃料サイクル(その1~3)」	1986年9月 11月, 12月	『原子力ニュース』第7巻 第8・9号, 11号, 12号
「船舶・船員徴用と核戦争保険」	1986年10月	『海員』第38巻第10号 全日本海員組合
「復活した古典的病—生活問題と保険ファンド」	1987年5月	『共済と保険』第29巻第5号 共済保険研究会
「保険労働者の社会的役割と労働条件」	1988年6月	『労働と健康』87号 大阪労災職業病対策連絡会
「岐路に立つ原子力賠償制度」	1989年1月	『世界』第523号
「民間の医療保険・個人年金・交通事故保険」	1989年11月	『社会保障・社会福祉事典』 労働旬報社
「国民生活の実像と保険産業(第1回~第3回)」	1989年12月 1990年1月 4月	『損保調査時報』第214, 215, 217号
「日本型福祉社会と私的保険化—その虚像と実像」	1990年6月	『民医連医療』第215号

本間照光名誉教授著作目録

- | | | |
|---|---------------|---------------------------|
| 「金融制度改革の進展をめぐって—相互
参入問題をどう受けとめるか」 | 1992年1月 | 『インシュアランス』生保版
新年特集号 |
| 「奴隷的労働の強制と金融諸答申の死文
化」 | 1992年1月 | 『損保調査時報』No. 242 |
| 「保険審議会答申と歴史の審判—バブル
の膨脹・崩壊を不問，不問にしてきた
こともまた不問」 | 1992年8月 | 『損保調査時報』第250号 |
| 「保険審議会答申の道と共済の道」 | 1992年8月 | 『共済と保険』第34巻第8号
共済保険研究会 |
| 「安心を保障する『科学的知識』」 | 1993年4月 | 『共済と保険』第35巻第5号
日本共済協会 |
| 「遅れてきた社会保障バブル答申」 | 1993年5月 | 『賃金と社会保障』1105号 |
| 「北海道地震が浮上させた協同の課題」 | 1993年9月 | 『共済と保険』第35巻第10号
日本共済協会 |
| 「特集・座談会 なぜいま賀川の協同組
合保険化なのか(上)(下)」 | 1994年2月
3月 | 『共済と保険』第36巻第2号，
3号 |
| 「ドラマと教育」 | 1994年6月 | 『共済と保険』第36巻第7号
日本共済協会 |
| 「戦後社会保障の50年と『公的介護保
険』」 | 1995年6月 | 『共済と保険』第37巻第6号
日本共済協会 |
| 「「なぜ保険」議論なく—公聴会を聞いて」 | 1995年11月 | 『北海道新聞』
1995年11月12日付 |
| 「制度改革の理念の中味が問われる」 | 1996年1月 | 『インシュアランス』生保版
新年特集号 |
| 「公的介護を考える—私の発言」 | 1996年2月 | 『北海道新聞』
1996年2月26日付 |
| 「「介護保険」へ向かう民間医療保険」 | 1996年3月 | 『民医連医療』第284号 |
| 「金融・保険「改革」と共済」 | 1996年4月 | 『労農のなかま』第33巻第4号
全農協労連 |
| 「社会・歴史から保険をみる，保険から
社会・歴史をみる—保険労働の基盤」 | 1996年6月 | 『損保調査時報』No. 295 |

- 「迷走「公的介護保険」が映す社会保障像」 1996年6月 『共済と保険』第38巻第6号
日本共済協会
- 「法律すらない団体保険の制度的問題点」 1996年7月 『週刊読売』1996年7月21日号、
読売新聞社
- 「書評：相澤興一著『社会保障の保険主義化と「公的介護保険」』」 1996年7月 『賃金と社会保障』1181号
1182号合併号
- 「問題を温存する新型団体定期保険」 1996年9月 『朝日新聞』, 「論壇」
1996年9月12日
- 「『人権侵害保険』になった団体定期保険の怪」 1996年11月 『週刊エコノミスト』第3258号
毎日新聞社
- 「団体保険と日本的経営—団体定期保険と保険金帰属問題」 1996年11月 『共済と保険』第38巻第11号
日本共済協会
- 「官民一体の無断生命保険」 1997年2月 『世界』第631号
- 「料率算出団体は社会の財産—破壊へ向かう日米の責任」 1997年4月 『インシュアランス』生保版
No. 3745 保険研究所
- 「金融・保険改革と自主共済運動の課題」 1997年5月 『国公労調査時報』No. 413
国交労
- (書評)「坂本重雄, 山崎貞司編著『高齢者介護の政策課題』」 1997年5月 『静岡大学経済研究』第2巻
第1号 静岡大学法経学会
- 「それでも団体定期保険を許しているのか」 1997年5月 『週刊エコノミスト』第3285号
毎日新聞社
- 「賀川豊彦—庶民と共に歩んだ, 世界のKAGAWA」 1998年3月 『青山学報』第183号
青山学院本部広報室
- 「農業共済制度見直しへの眼目—共済組織と人の活性化」 1998年4月 『農業共済新聞』1998年4月22日付
全国農業共済協会
- 「生命を守る権利と保険事業の責任」 1998年11月 『共済と保険』第40巻第11号
日本共済協会
- 「裸の王様・金融ビッグバンと協同組合保険の課題」 1999年2月 『共済情報』No. 156
全国大学生生活協同組合連合会
- 「原子力賠償制度と住民被害」 1999年10月 『朝日新聞』, 「論壇」
1999年10月25日

本間照光名誉教授著作目録

- | | | |
|---|----------------------|---|
| 「JCO 臨界事故と原子力損害賠償制度」 | 2000年10月 | 『原子力ニュース』第21巻第10号
原子力問題情報センター |
| 「JCO 事故をめぐる損害賠償・保険の問題」 | 2000年12月 | 『原子力資料情報室通信』第319号
原子力資料情報室 |
| 「保険経営の責任と義務の履行が問われる時—原理・原則に立ち返る—」 | 2001年1月 | 『インシュアランス』損保版 No. 3927
保険研究所 |
| (調査・資料) 『「他人の生命の保険契約」の沿革—貫する『被保険利益』』 | 2001年3月 | 『青山経済論集』第52巻第4号
青山学院大学経済学会 |
| 「“平和産業”としての保険・再保険事業の制約と再生—テロ・戦争・大震災破綻—」 | 2002年4月 | 『インシュアランス』損保版 No. 3986
保険研究所 |
| 「炎の中によみがえれ、不死鳥のごとく」 | 2002年6月 | 『芝田進午の世界—核・バイオ時代の哲学を求めて』
芝田進午さんを偲ぶ会編 桐書房 |
| 「この保険労働の威信こそ保険事業の至宝」 | 2002年9月 | 『21世紀への起点』
全日本損害保険労働組合編 |
| 「保険金犯罪防止—本人同意徹底だけでよいか」 | 2003年1月 | 『朝日新聞』, 「私の視点」
2003年1月21日 |
| 「社会保険」 | 2003年3月 | 『月刊 ゆたかなくらし』No. 253
全国老人福祉問題研究会 |
| 「保険に映ったいのちの危うさ—現代・日本という魔法の杜—」 | 2004年3月 | 『雲の柱』第18号
賀川豊彦記念松沢資料館 |
| 「課題: 無認可共済—契約者保護いかに図るか」 | 2004年3月 | 『週刊エコノミスト』第3677号
毎日新聞社 |
| 「『共済』の名を冠した保険問題」 | 2004年9月 | 『共済と保険』第46巻第9号
日本共済協会 |
| 「介護サービスと経営」 | 2004年10月 | 『社会保障・社会福祉大事典』
旬報社 |
| 「入門: 保険と社会保険 1~5」 | 2004年11月
~2005年3月 | 『福祉のひろば』第421号~425号
総合社会福祉研究所 |
| (書評) 鳥飼慶陽著『賀川豊彦再発見—宗教と部落問題』 | 2005年3月 | 『賀川豊彦学会論叢』第13号
賀川豊彦学会 |

- 「最高裁への提言—団体定期保険は間違
いなく『遺族保障』のためにある」 2005年9月 『週刊エコノミスト』第3780号
毎日新聞社
- 「『経済人』と人間の個性」 2005年11月 『SOKEN』第5巻第1号
青山学院大学総合研究所
- 「団体保険—遺族補償の法律制定急げ」 2006年5月 『朝日新聞』, 「私の視点」
2006年5月17日
- 「共済危機—日本の共済を踏み潰させて
いいのか」 2007年5月 『週刊エコノミスト』第3896号
毎日新聞社
- 日本損害保険労働組合編『シンポジウ
ム・どこへ行く「不払い・取り過ぎ問
題」—「自由化」新局面を迎えた損保の
展望を語る』 2007年6月
- 「保険法改正は問題を直視していない—
『他人の生命にける保険』の明確な
ルールが必要だ」 2007年9月 『週刊エコノミスト』第3916号
毎日新聞社
- (書評) ロバート・シルジェン著『賀川
豊彦—愛と正義を追い求めた生涯』 2008年3月 『雲の柱』No.22
賀川豊彦記念松沢資料館
- (座談会) 「助け合いの文化と自主共済」 2008年3月 『月刊保団連』No.962
全国保険医団体連合会
- 「共済研究会シンポジウム・共済の灯を
消してはならない」パート1-7(共済
研究会代表) 2008年3月 『賃金と社会保障』1461号~
~2015年10月 1644号
- 「団体生命保険—会社受け取り, 法で禁
止を」 2008年4月 『朝日新聞』, 「私の視点」
2008年4月9日
- 「正論・異論」(5回連載) 2008年4月 『月刊ライト』2008/4~2008/9
~9月 保険銀行日報社
- 「社会政策における労働と生活」「保険・
社会保険・社会保障」「公的介護保険
の仕組み」「公的介護保険の問題点と
将来」 2009年5月 『よくわかる社会政策』
(石畑良太郎, 牧野富夫編著)
ミネルヴァ書房

本間照光名誉教授著作目録

- 「多様性」「紙とIT」「学際性—総合と専門」「コミュニケーション」「災害と人間—1 危機における学問」「災害と人間—2 メディアとネットワーク」「災害と地球市民」「危機の時代の大学」 2009年10月～2013年3月 『News SOKEN』 Vol. 9-1～12-2
青山学院大学総合研究所
- 「『貧困の時代』に甦る賀川豊彦の思想」 2009年12月 『週刊エコノミスト』 4077号
毎日新聞社
- 「国の賠償制度強化を」 2011年4月 『朝日新聞』 2011年4月3日付
- 「原発事故補償どうなる—数兆円規模、国費投入は必至」 2011年4月 『北海道新聞』 2011年4月9日付
- 「財源の用意ない原発事故の賠償—国の全面措置では責任あいまいに」 2011年5月 『毎日新聞』 2011年5月10日付
夕刊
- 「保険を担う人びとの誇りと苦しみ—『社会の共同業務』の今」 2012年9月 『時代をみつめ、明日へつなげる』
全日本損害保険労働組合編
- 「青山学院大学総合研究所公開シンポジウム報告書：災害と人間～核時代の生そして再生を問う～（2012年3月15日開催）」 2013年1月 青山学院大学総合研究所
- 「TPP—『共済』で起きたことが全ての分野で起きる」 2013年6月 『東京保険医新聞』 2013年6月15日
- 「国家補償へ、危うい改定—加害者保護へ向かう原子力損害賠償」 2014年11月 『毎日新聞』 2014年11月20日付
夕刊
- （書評）相馬健次著『共済事業とはなにか—共済概念の探求』 2014年12月 『協同組合研究』 34巻1号
日本協同組合学会
- 「帰還と原発関連死」 2015年2月 『NERIC News』 374号 核・エネルギー問題研究センター
- （書評）中川雄一郎・JC総研編『協同組合は「未来の創造者」になれるか』 2015年3月 『ロバート・オウエン協会年報』
39号
- 「骨抜きにされる原子力賠償制度—法律改定で加害者保護強まる恐れ」 2015年8月 『週刊エコノミスト』 4410号
毎日新聞社
- 「加害者に甘い原賠法見直し—災害対策としての位置付けが必要」 2016年7月 『週刊エコノミスト』 4457号

- 「原発会計を問う—破綻認めて出直しを」 2016年12月 『北海道新聞』2016年12月1日付
- 「原発保険—原発に経済合理性なし—」 2017年2月 『週刊エコノミスト』4486号

IV. 学会報告・講演

発表内容	発表年月	学会等の名称
「社会政策論における保険の位置づけ」	1990年3月	社会政策学会北海道部会
「社会保障理論構築と保険・社会保険理論問題」	1990年5月	社会政策学会
「賀川豊彦の協同組合保険論—賀川研究上の空白, 社会科学上の空白」	1992年7月	賀川豊彦学会
共通論題「変化の中の労働と生活」(主討論者)	1992年10月	社会政策学会
「団体定期保険契約にみる「日本型」「企業社会」の現実と評価」	1994年5月	社会政策学会
「「日本型」企業社会と団体定期保険—保険論者・賀川の視座の現代的意義」	1995年7月	賀川豊彦学会
「団体保険と日本的経営」	1996年10月	日本保険学会
「なぜ社会政策・社会保障論にとって保険・社会保険理論が必要なのか—従業員・他人の生命が侵されていく構造—」	2001年10月	社会政策学会
「医療構造改革: 国民保険の地域保険化—皆保険=皆医療の分離・縮小, 国家・企業責任の解除—」	2003年3月	第27回総会・研究大会シンポジウム「国民皆保険の何を引き継ぎ, 何を改革していくべきか」 日本医療経済学会
「日本における「他人の生命の保険」100年—現行通説の学説史上の位置—」	2004年10月	日本保険学会
「なぜ賀川豊彦は協同組合保険にこだわったのか」	2004年12月	賀川豊彦学会・明治学院大学キリスト教研究所「賀川豊彦研究」プロジェクト共催公開研究会
「「無認可保険」問題と共済理論の復権」	2006年5月	日本協同組合学会

本間照光名誉教授著作目録

- (ゲスト報告)「保険研究の可能性—中浜 2006年12月 日本金融学会・信用理論研究
隆氏のアメリカ民間医療保険研究に寄 学会北海道部会
せて」
- 共通論題「労働・生活・地域の不安定化 2007年9月 経済統計学会
と統計分析」(予定討論者)
- 「原賠法の目的は『被害者保護』—強化に 2016年10月 日本弁護士連合会院内学習会
逆行, 加害者保護へ見直し」